

日本各地の偏角値

都道府県庁所在地の偏角値一覧

表1は、1970年、2015年、2020年の1月1日における都道府県庁所在地の偏角値です。また、表には2015年から2020年までの5年間、1970年から2020年までの50年間の変化量がそれぞれ記されています。全国平均で見ると、日本の偏角は、過去5年間で西向きに約0.3度、過去50年間で西向きに約1.4度増加しています。このように偏角は時間とともに変化し、その変化の量は場所によって異なります。

表1 都道府県庁所在地の偏角値

都道府県 庁所在地	1970年	2015年	2020年	変化量	
				5年間	50年間
札幌	8.7	9.4	9.7	+0.3	+1.0
青森	7.7	8.4	8.7	+0.3	+1.0
盛岡	7.5	8.3	8.6	+0.3	+1.1
仙台	7.3	8.3	8.6	+0.3	+1.3
秋田	7.8	8.5	8.8	+0.3	+1.0
山形	6.5	7.2	7.5	+0.3	+1.0
福島	6.8	7.7	8.1	+0.4	+1.3
水戸	6.3	7.2	7.5	+0.3	+1.2
宇都宮	6.7	7.6	7.9	+0.3	+1.2
前橋	6.7	7.7	8.0	+0.3	+1.3
さいたま	6.3	7.3	7.7	+0.4	+1.4
千葉	6.2	7.2	7.5	+0.3	+1.3
東京	6.3	7.3	7.6	+0.3	+1.3
横浜	6.3	7.3	7.6	+0.3	+1.3
新潟	7.3	8.4	8.7	+0.3	+1.4
富山	7.0	8.0	8.3	+0.3	+1.3
金沢	7.0	8.0	8.3	+0.3	+1.3
福井	7.2	8.1	8.5	+0.4	+1.3
甲府	5.5	6.3	6.6	+0.3	+1.1
長野	6.7	7.6	8.0	+0.4	+1.3
岐阜	6.5	7.8	8.1	+0.3	+1.6
静岡	5.8	6.9	7.2	+0.3	+1.4
名古屋	6.3	7.7	8.0	+0.3	+1.7
津	6.2	7.3	7.7	+0.4	+1.5
大津	6.5	7.6	7.9	+0.3	+1.4
京都	6.5	7.6	7.9	+0.3	+1.4
大阪	6.2	7.3	7.6	+0.3	+1.4
神戸	6.3	7.5	7.8	+0.3	+1.5
奈良	6.3	7.5	7.9	+0.4	+1.6
和歌山	6.2	7.4	7.7	+0.3	+1.5
鳥取	7.0	8.4	8.5	+0.1	+1.5
松江	6.8	8.1	8.4	+0.3	+1.6
岡山	6.5	7.5	7.9	+0.4	+1.4
広島	6.3	7.4	7.8	+0.4	+1.5
山口	6.2	7.3	7.7	+0.4	+1.5
徳島	6.2	7.3	7.7	+0.4	+1.5
高松	6.3	7.5	7.9	+0.4	+1.6
松山	6.0	7.2	7.5	+0.3	+1.5
高知	6.0	7.3	7.7	+0.4	+1.7
福岡	6.0	7.4	7.7	+0.3	+1.7
佐賀	5.8	7.2	7.6	+0.4	+1.8
長崎	5.5	6.8	7.2	+0.4	+1.7
熊本	5.5	6.7	7.2	+0.5	+1.7
大分	6.0	7.2	7.6	+0.4	+1.6
宮崎	5.3	6.6	7.0	+0.4	+1.7
鹿児島	5.5	6.8	7.2	+0.4	+1.7
那覇	3.5	5.0	5.5	+0.5	+2.0
全国平均	6.4	7.5	7.8	+0.3	+1.4

※表中の値は度単位（西向き）。変化量「+0.2」の場合は、方位磁石の北の向きが西に0.2度増加したことを表す。

日本で最も偏角が大きい場所と小さい場所（2020.0年値）

- ・最大：北海道中頓別町の上頓部（かみとんべつ） 西向き約11.2度
- ・最小：南鳥島 西向き約0.2度